

第4回 5月9日（木）13:00～14:30

難民の隣人となる
～国内難民支援の現場から～



阿部頼義氏

難民医療支援会プレシオン代表 / グレースガーデンチャーチ牧師

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

キリスト教(プロテスタント)の牧師。大学卒業後、外資系製薬メーカー勤務を経て、アメリカ留学。そこで神学を学び牧師の道へと進む。帰国後、牧師として働き始めた教会で難民と出会うが、彼女は適切な医療を受けられずに癌のため亡くなる。その死をきっかけに難民受け入れの課題を知り、仲間と共に難民医療支援会プレシオンを立ち上げ、難民・難民申請者の医療アクセスを改善する活動に取り組んでいる。

<担当スタッフより>

皆さんは聖書を読んだことがあるでしょうか？聖書には私たちが直接出会うことはない人々の人生が描かれています。しかし、そこに描かれている、様々な人間関係や彼らの思想や感情は現在を生きる私たちと重なる部分もあるはずです。私たちの人生にも、人間関係や他者の考えと付き合っていくという場面は多くあり、聖書の物語を読んで、共感したり考えさせられたりすることがあるかもしれません。

阿部さんは牧師であり、難民や難民申請者の方々が医療にアクセスできるための活動にも取り組んでいらっしゃいます。その活動の中では、阿部さんの学生時代には経験できなかった「学び」に溢れているのではないのでしょうか？実際に、阿部さんが活動の中で知ったことや感じたことを聞いて、皆さんは何を感じる事ができるのでしょうか？